

《女川原子力発電所における新規制基準への適合に向けた工程の見直しについて》

当社は、女川原子力発電所の安全性向上に向け、国の新規制基準適合性審査への対応とともに、同基準や最新の知見を踏まえた安全対策について、平成29年4月の工事完了を目指し、取り組んでまいりました。また、工事完了以降、地域の皆さまからのご理解を得ながら、準備が整った段階での再稼働を目指してまいりました。

女川2号機は、これまでに、主要な断層の地震動評価や基準津波について「概ね妥当な検討がなされている」との評価をいただくなど、審査は着実に進んでおります。一方、設備の審査については、他社と並行で進められており、審査の終了までには、今後も一定の期間を要するものと考えております。

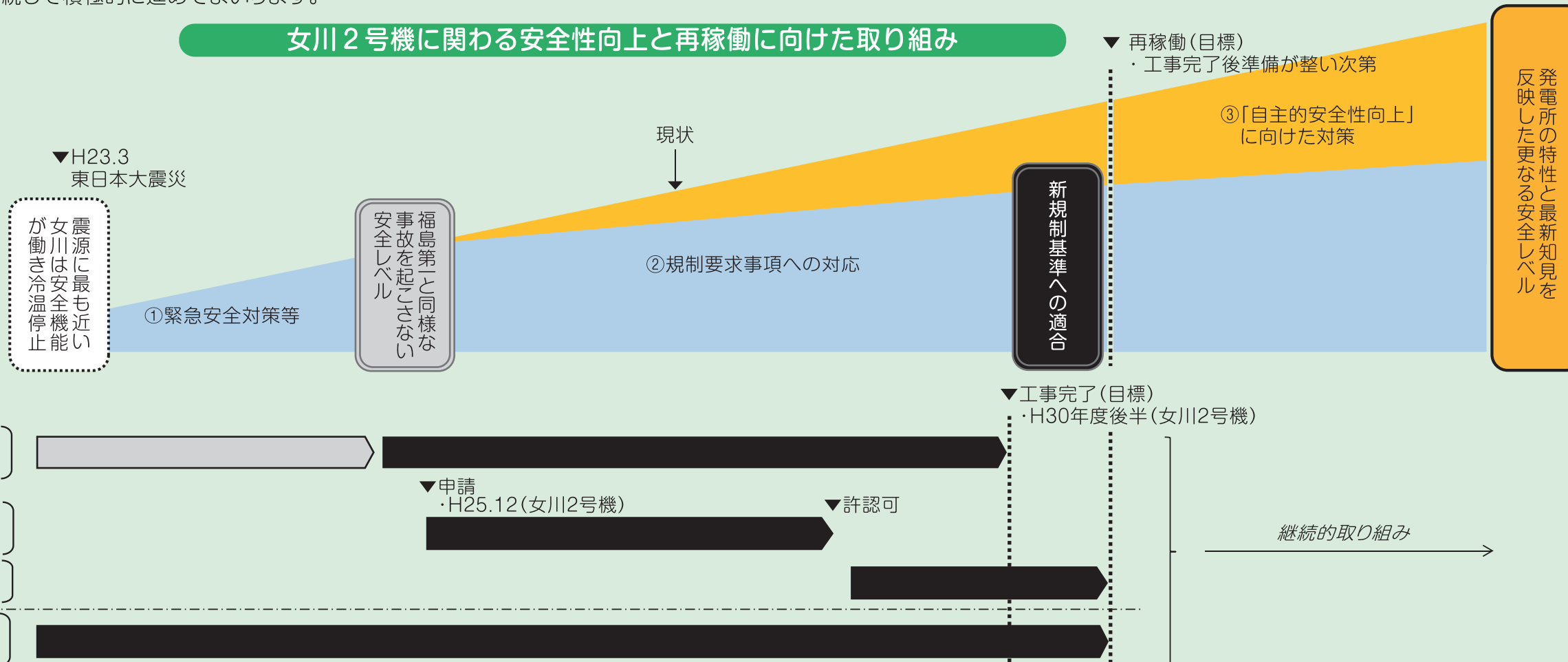
また、審査と並行して取り組んでいる安全対策工事については、審査の過程で得られた知見・評価などを適宜反映しながら、設計や工事を進めていくことが必要な状況にあります。

こうしたことから、女川2号機の安全対策全体の工事工程をあらためて評価し、平成30年度後半の工事完了を目指して工事を進めていくことといたしました。なお、工事完了後、地域の皆さまからのご理解を得ながら、準備が整った段階での再稼働を目指してまいります。

当社としては、今後とも、新規制基準への適合性とどまらず、原子力発電所のさらなる安全レベルの向上に向けて取り組んでいくとともに、地域の皆さまとの対話活動を継続して積極的に進めてまいります。



女川2号機に関わる安全性向上と再稼働に向けた取り組み



※1 安全対策工事のうち、特定重大事故等対処施設等については、工事計画認可後5年以内に設置。

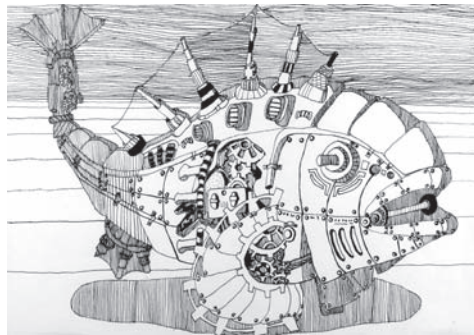
※2 「使用前検査」とは、発電用原子炉施設の工事計画の認可または届出があったものについて、その工事計画との適合性や技術基準との適合性を確認するもの。

《「第15回東北電力図画コンクール」優秀作品をご紹介します》

今年度の図画コンクールには、過去最多となる5,366点もの作品をお寄せいただき、甲乙つけがたい力作の中から、最優秀賞1点、優秀賞7点を含む37点の入賞作品が決定しました。子どもたちが一生懸命描いた想像力あふれる“海の生きものたち”をお楽しみください。

なお、作品は12/27～1/9に東北電力グリーンプラザ(仙台市)にて、また、1/14～1/22に石ノ森萬画館(石巻市)にて展示し、多くの皆さまからご覧いただきました。

最優秀賞



「スチームフィッシュ」

木村 匠意さん(石巻市)

きかいじかけの魚です。けがをしたところから歯車が見えています。海にしずんだ文明の生き残りかもしれません。なっとくするまでデザインをくふうしました。

優秀賞



「デンジャーfish」

佐藤 雄次郎さん(女川町)



「海の守護神」

伊藤 愛羅さん(石巻市)



「魚たちの花火大会」

舛 菜々子さん(石巻市)



「うみのコンパアート —来年の六魂祭は三陸の海で—」

櫻井 蘭奈さん(石巻市)



「海の守護神」

谷津 由也さん(石巻市)



「華麗」

横山 菜々子さん(石巻市)



「幸運のイルカ」

三浦 美咲さん(石巻市)

各賞

- ◆審査委員長賞……………石垣 京香さん(東松島市)
- ◆審査委員特別賞……………木下 暖菜さん(石巻市)
- ◆審査委員特別賞……………黒澤 百々果さん(石巻市)
- ◆審査委員特別賞……………狩野 悠介さん(女川町)
- ◆三陸河北新報社賞……………中井 悠月さん(石巻市)
- ◆石巻日日新聞社賞……………大山 唯花さん(石巻市)
- ◆石ノ森萬画館賞……………板垣 亜唯璃さん(石巻市)
- ◆女川原子力発電所長賞……………高橋 星良さん(石巻市)
- ◆女川原子力PRセンター所長賞……………亀山 茉唯さん(石巻市)

奨励賞

- 大久保 嘉人さん(東松島市)
- 相澤 優奏さん(石巻市)
- 尾形 柑南さん(東松島市)
- 熊谷 快晴さん(石巻市)
- 高橋 美心さん(石巻市)
- 千田 凜音さん(石巻市)
- 菊池 優希さん(石巻市)
- 阿部 匠之介さん(石巻市)
- 鈴木 柊音さん(東松島市)
- 中村 奏大さん(石巻市)
- 西條 弥成さん(石巻市)
- 高橋 和歌乃さん(石巻市)
- 千葉 さつきさん(石巻市)
- 安藤 幸生さん(石巻市)
- 大槻 紗耶さん(石巻市)
- 北林 凜歩さん(東松島市)
- 小松 真賢さん(石巻市)
- 佐藤 亜紀さん(東松島市)
- 白金 萌さん(石巻市)
- 那須野 瑚琶さん(東松島市)

《「こんにちは訪問」を実施しました》

～地域の皆さまからいただいた声を、当社および発電所運営に活かしてまいります～



12月5日から22日にかけて、発電所員が地域の皆さまに発電所に関する情報をお知らせし、ご意見をいただく対話活動「こんにちは訪問」を実施しました。

平成6年の開始から30回目となる今回は、女川町と石巻市牡鹿半島部の約4,000戸を訪問させていただきました。

対話活動の中で、皆さまからいただいた「安全の確保にしっかり

取り組んでほしい」「これまで以上にコミュニケーションを」といった貴重なご意見は、今後の発電所運営の参考とさせていただきます。

お忙しいところご対応いただきありがとうございました。
今後とも、こうした取り組みを通じて、地域の皆さまから信頼いただける発電所を目指してまいります。

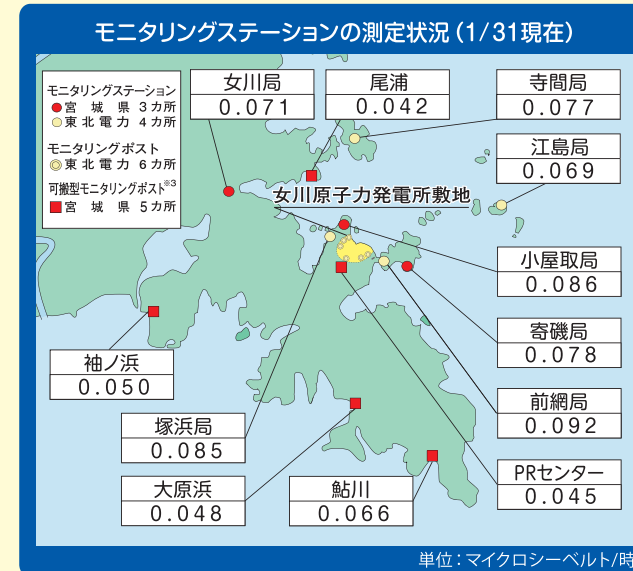


地域総合事務所
松田 広幸(山形県出身)

《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線量はモニタリングポスト*1やモニタリングステーション**2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.058マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



項目	測定値
〈東北地方太平洋沖地震発生日〉	平成23年3月11日 0.027～0.064
〈地震発生後最大値〉	平成23年3月13日 1.8～21**4
〈地震発生以降毎年度(4/1)の値と至近値〉	平成24年4月1日 0.063～0.098
	平成25年4月1日 0.055～0.076
	平成26年4月1日 0.046～0.065
	平成27年4月1日 0.043～0.077
	平成28年4月1日 0.041～0.061
	平成29年1月1日 0.039～0.058
	平成29年1月31日 0.039～0.058

単位: マイクロシーベルト/時

*1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されており、その最小値と最大値について、東北地方太平洋沖地震の発生日の値、それ以降で最大値が測定された日(平成23年3月13日)の値、毎年度(4月1日)の値、至近の値を掲載しています。

*2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

*3 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。

*4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。